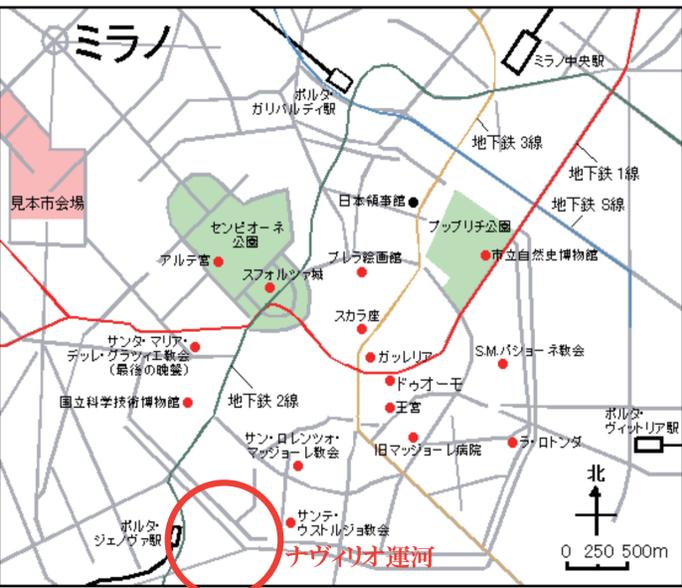


ミラノは且つて水の都だった！

ミラノの中心街は、且つて運河が張り巡らされ街の経済的發展を支えていた。14世紀にミラノ大聖堂の建設とともに都市計画が見直されると、運河の殆どが埋め立てられ、それ以前の姿は失われてしまった。今ではミラノ南部のナヴィリオ地区にのみ、当時の運河の一部が残されている。(パネルに記載の写真はすべて今年1月27日～28日現地で撮った写真です。)



運河の水は、街の中心に向かってゆっくり流れていて、また水深1m位にも拘らず、上の写真の様に川底がしっかり見えるほど澄んでいる！

ナヴィリオ・グランデ運河 (幅：12M)



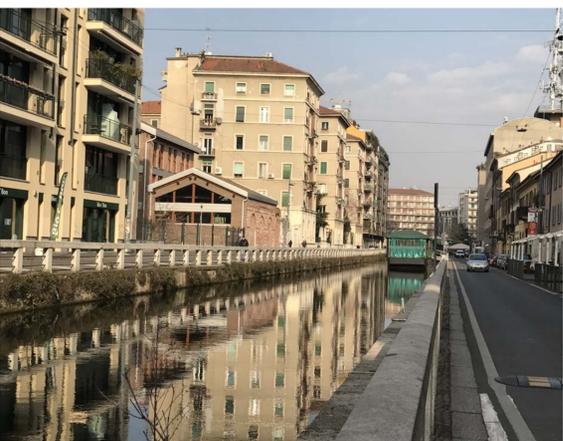
運河の両側はカフェやセレクトショップがあるが、寒さの為快晴ではあったが流石に観光客は少なかった！



運河に架かる人道橋 左の人道橋は一説に寄ればレオナルド・ダ・ヴィンチの設計とか...

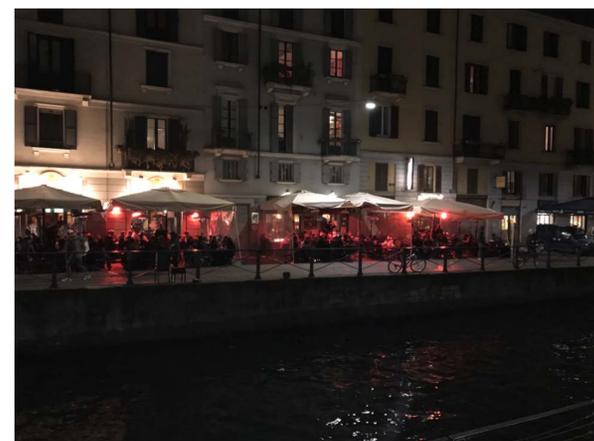
ナヴィリオ・パヴェーゼ運河 (幅：10M)

ダルセナ・デル・ナヴィーリオ (二つの運河の合流部)



パヴェーゼ運河は幅10mと狭いが、運河には船上レストランがあったり賑わい創りには丁度の規模

この運河では船が行交い、のんびり釣りを楽しむ人も！



昼間は観光客が少なかったが、夜はミラネーゼが多く集まり食事を楽しんでいた！



運河の事例 (ミラノ・ナビリオ運河)